

# 電動機予知保全による生産用ロスエネルギーの改善

この工場は24時間操業のプラスチック製品製造業で、過去電動機の突発故障で生産停止が相次ぎ発生していました。

そこで、生産性向上とエネルギーロス低減のため、「電動機の予知保全の確立」に取り組みました。

## 改善内容

- 「電動機診断システム」を導入し定期的な振動測定による傾向把握で修理時期を予測するようにした。
- 診断する電動機を重要度別に選定し、4ヶ月毎に診断した。
- 測定精度を上げるため、振動測定教育と作業標準を定めた。

## 改善効果

- 突発停止ロス時間の減少  
105時間/年(112時間→7時間)
- 削減電力量：63,000kWh/年

改善費用	改善効果	回収年数
100万円	57万円/年	1.8年

## 【電動機軸受劣化予測グラフ】

